

PRESS RELEASE

報道関係者各位

2021年9月27日
野村不動産ソリューションズ株式会社

リリースカテゴリ

仲介・CRE

DX

不動産売買仲介の売買契約時において、 電子契約システムによる契約書類の署名・押印を11月上旬より開始 ～22年5月の宅建業法改正を見据えた、不動産取引のデジタル化の取り組み～

野村不動産ソリューションズ株式会社（本社：東京都新宿区/代表取締役社長：前田研一）は、個人向け不動産仲介事業において、不動産売買契約時の重要事項説明書および売買契約書の署名・押印等の手続きを電子化する「Musubell(ムスベル) for 仲介」を、2021年11月上旬より「野村の仲介+(PLUS)錦糸町センター」、「レリア (REALIA) 麻布」にて導入いたします。

「Musubell for 仲介」は、株式会社デジタルガレージ（本社：東京都渋谷区、代表取締役 兼 社長執行役員グループ CEO：林 郁）が開発するにあたり、当社が不動産売買仲介の契約手続きフローや各種契約書類の共有、必要機能の提案等、開発協力を行い、実現したサービスです。また、「Musubell for 仲介」は弁護士ドットコム株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：内田 陽介）が提供する Web 完結型クラウド電子契約サービス「クラウドサイン」と API 連携※しています。本サービスにより、不動産売買契約時における必要書類をシステム上で管理し、複数書類への署名・押印を不要にすることで、お客様の契約手続きにかかる負担の軽減、契約業務の効率化等が可能となります。

※API 連携：Application Programming Interface 連携の略。ソフトウェアの機能を共有する仕組みのこと。

2021年5月に公布された「デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律」に基づき、2022年5月までに宅地建物取引業法が改正される予定です。具体的には不動産取引において書面での発行が欠かせない、重要事項説明書や売買契約書の電子交付が可能になることが予定されております。これに伴い、今後不動産取引におけるデジタル化が加速することが予想されます。

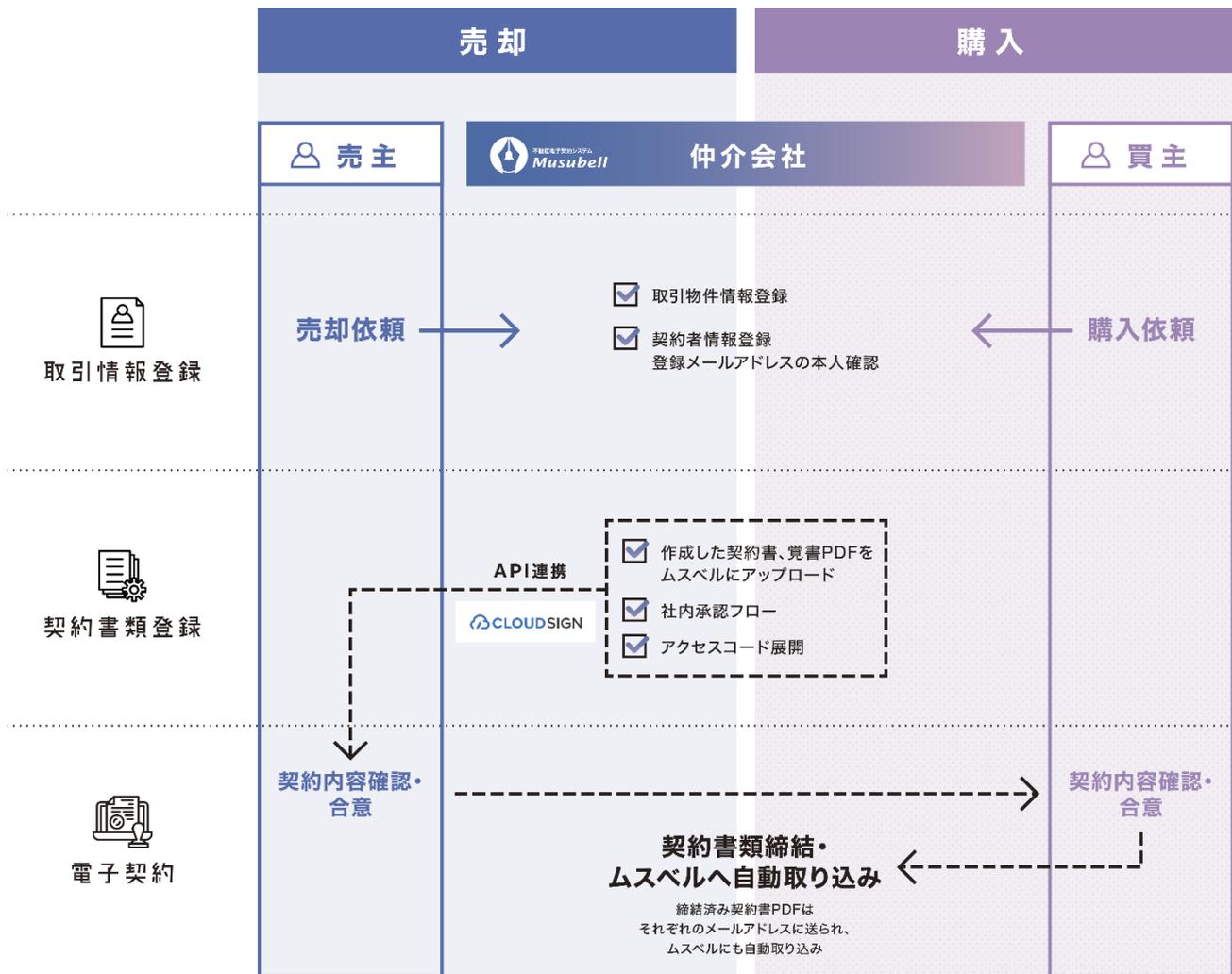
当社はこれまでも、ビデオ会議ツールを使用したオンライン商談やセミナー（ウェビナー）の実施、お客様向け住宅ローン手続き専用アプリ「野村の仲介+いえるダンドリ」の開発など、デジタル活用によるお客様サービスの向上を積極的に進めてきましたが、今般の「Musubell for 仲介」導入により、さらなるお客様の利便性向上に繋がると考えます。

これまでお客様にご来店いただくことが一般的であった不動産売買手続きを、お客様のご希望に応じてご自宅等において契約手続きを完結できる様にするなど、今後は不動産売買に関するすべての手続きにおいて電子化・オンライン対応を可能にすることを目指してまいります。また、法人向け不動産仲介事業においても同様の取り組みを進めてまいります。

あしたを、つなぐ

PRESS RELEASE

■「Musubell for 仲介」概念図



野村不動産ソリューションズは、ICT（Information and Communication Technology）を活用したお客様向けサービスを積極的に提供しており、これまで「3D ウォークスルー動画」、「VR ホームステージング」、住宅ローン手続きアプリ「野村の仲介+いえーるダンドリ」などの先進的な取り組みを行ってまいりました。今後も、ICT 活用を積極的に推進し、お客様のお役に立つ不動産サービスの提供を目指してまいります。

【株式会社デジタルガレージについて】

社名 : 株式会社デジタルガレージ
代表者 : 代表取締役 兼 社長執行役員グループ CEO 林 郁
本社所在地 : 東京都渋谷区恵比寿南 3-5-7 デジタルゲートビル
東京都渋谷区宇田川町 15-1 渋谷パルコ DG ビル
設立 : 1995 年 8 月 17 日
事業内容 : 決済事業、マーケティング事業、投資・育成事業 等
URL : <https://garage.co.jp/>

あしたを、つなぐ

PRESS RELEASE

本件に関するお問い合わせ窓口
野村不動産ソリューションズ株式会社 経営企画部 寺田・大江
TEL 03-3345-7779 FAX 03-3345-8273

あしたを、つなぐ

 野村不動産グループ
